

「祖国とは、国語だ（エミール・シオラン）。日本を守る文化活動を御一緒に！」

■ JAPANは止めて、NIPPONに！

マルコ・ポーロは日本をジバングと聞き違えて、東方見聞録を口述したのです。そもそもJAPANなる国は存在しません。瑞穂の国の稲作文化を守る農協がJAでは断じておかしいし、更にJR、JTも耳障りです。既に、国際試合に出場する日本柔道選手の前には「NIPPON」と書かれています。日出する国の代表選手は全て「NIPPON」とすべきです。国連等の国際会議での国名表示も同様です。

■ 年表示は、キリスト教暦（西暦）一辺倒から、元号（明治・大正・昭和・平成）を主に！

日本は、公式の邦暦として、短期の紀年法である元号があり、明治五年の太陽暦採用と同時に、長期の紀年法としては日本書紀に拠る神武天皇即位紀元・皇紀を定めています。元号は、単に年表示としてではなく、大化の改新以来、我が国の独立の証として各時代の理想を掲げたものです。外国暦にはイスラム教暦、ユダヤ教暦、仏教暦等があり、決してキリスト教暦（西暦）使用が国際化ではありません。暦の曜日は国語で表示を。

■ ローマ字での人名表記は「姓」「名」の順に！

明治政府が、主に欧米との不平等条約改正の為にに行った鹿鳴館（明治十六年）に代表される欧米化策が、名前を「名・姓」と引く繰り返したのです。第一「俊昭・古賀」と名乗ったのでは自己認識の放棄ですし、何よりも斯かる人物は実在しません。嘗て外交文書では、安政元年の日米和親条約に林大學らが漢字・花押の縦書きで、明治八年の樺太千島交換条約に榎本武揚は「Enomoto Takeaki」と署名しています。

■ 安易なカタカナ語の使用を止めよう！

ベースボールを「野球」としたのは正岡子規、スピーチは福澤諭吉が「演説」と訳し、幕府オランダ留学生の西岡は「哲学」「理性」、津田真道は「民法」の訳語を創っています。我等は先覚の知的努力を見習うべきです。私はファックスは「電写」、Eメールは「電郵」、ホームページは「電網頁」との訳語を使用しています。

■ 「縦書き」こそが国語表記の正則です！

「漢字仮名交じり文」の日本語は、縦書きが大原則です。殊に名刺、表紙、名札、恋文、親書、賞状、遺言、詩歌、式辞、記念誌等は必ず縦書きにしましょう。横書きは、数式を多用する理数系文書や事務的文書に限るべきです。差し当っての実践として、封筒・葉書の宛名と差出人の縦書きを奨めます。

■ 「交ぜ書き」を醜いと感ずる美意識で国語破壊思想を排除しよう！

「ら致」や「駐とん地」は除をひそめましたが、「子ども」や「障がい者」等が氾濫しています。「子供」「障害（害）者」と漢字で書くべきです。特に交ぜ書きを象徴するのが「子ども」表記ですが、「供」はお供する意味で封建的だが、「ども」だと民主的という出鱈目な左翼の企みに役所までが汚染されて、漢字否定の文化破壊に加担しているのです。学習指導要領は「供」を小学校六年生で「読み書きを指導」としています。交ぜ書きが国民の知的水準や漢字能力低下を招いているのです。

■ 算用数字「0」は「ゼロ」ではなく「レイ」と呼称しよう！

例えば、電話番号の数字「0」のみの英語読みは、零だ、と感じる言語意識が薄れてしまったのです。名機・零（レイ）式艦上戦闘機を「ゼロ戦（ファイター）」と呼んだのは敵側アメリカです。

■ 先の大戦の正式名称は「大東亜戦争」です！

大東亜戦争の名称は、昭和十六年十二月十二日の閣議で決定したもので、今日に至るまで取り消されていません。日本が掲げた大戦の目的と理想を顧みず大東亜戦争の名称の使用を禁止し、「太平洋戦争」を強制したのは敵側であったGHQ・アメリカであり、彼等は武力による戦争に勝てて思想情報戦も仕掛けたのです。

■ 正漢字（正字体）・正仮名遣（歴史的仮名遣）の復権を得よう！

日本人は古典どころか漱石、鴎外そして戦前昭和の名作も原文では読めなく成りました。古典及び先祖との断絶です。米占領下、二千年に亘る国語国字の作法を破壊した昭和二十一年十一月十六日の内閣（吉田茂）告示・「漢字制限」「現代かなづかい」に基づく戦後の義務教育が読めなくしたのです。

■ 軍歌・唱歌・童謡や子守歌を歌い継ごう！

日本語の韻律、語彙、語感、表現力を歌から自然に体得し、国民共有の道徳、価値観、感性そして神話に始まる日本の歴史物語が継承されて行くのです。

向、私が正統表記の復権を主張しながら、略字體・新假名遣を註で用いたのは、偏に先づ讀んで欲しい、国語問題への関心喚起を圖らうと思考したからです。【古賀俊昭通信第四五號（平成二十年一月十五日）に発表】

古賀俊昭
電話 〇四二 五八七 二二〇〇
ファクス 五八七 二二六六